

(学校番号227)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮原中学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 国語の「話すこと・聞くこと」において、正解率が低くなっている。 【指導上の課題】 生徒が反復・習熟する時間設定が不十分である。	⇒ 「ドリルパーク」等を活用し、基本的事項の徹底に取り組む。【週に1度の実施】また、個に応じた支援をして、協働的に学び合う場の充実を図っていく。【月に1度の実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 数学、英語で「思考・判断・表現」の問題の無回答率が高い。 【指導上の課題】 問題解決に取り組む時間が不十分である。	⇒ ICT機器を有効に活用し、生徒一人ひとりの考える時間を十分に確保させるとともに、個々に考えたことを発信し、互いに学び合う場を設定していく。「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を活用し、基本的事項の反復・習熟を行う。【毎回の授業で実施】【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な解答の割合が85%以上】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	R6年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R5年度の自校の結果と比較し、国語-8pt、数学+6ptであった。国語の情報の扱い方に関する領域において、全国平均より+4ptであった。数学の図形の領域において全国平均より+7ptであった。
思考・判断・表現	R6年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R5年度の自校の結果と比較し、国語-13pt、数学-9ptであった。国語の話すこと・聞くことの領域において、全国平均より+7ptであった。数学の記述式の領域において、+6ptであった。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	スタディサプリ等を活用し、言葉の使い方や特徴に関する事項、基本的な計算等の反復・習熟に取り組むことができた。また、協働的に学び合う機会の設定では、教科によって差が出てしまった部分もあり、学校全体で共有して、一斉に取り組んでいく。	変更なし
思考・判断・表現	B	スタディサプリ等を活用し、基本的事項の反復・習熟を行ったが、毎回の授業での実施は難しかった。また、ICT機器を活用し、生徒一人ひとりの考える時間を十分に確保させるとともに、個々に考えたことを発信する機会は、以前と比べると多くなってきた。	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価  
 A 8割以上(達成)    B 6割以上(概ね達成)    C 6割未満(あと一歩)